

令和元年度 米子市社会福祉協議会事業報告書

I 総括及び重点目標の取り組み状況

＝重点目標＝

- 1 組織体制と財政基盤の強化
- 2 地域福祉事業の推進
- 3 生活支援・総合相談事業の推進
- 4 広報活動の推進

米子市社会福祉協議会では、誰もが自分らしく安心して生活を送ることができる地域社会を目指し、支え合いのまちづくりに取り組んでまいりました。

これまで社協で策定していた「地域福祉活動計画」を米子市の策定する「地域福祉計画」と一体的に策定すべく連携して取り組み、令和2年3月策定いたしました。今後、互いに連携し、それぞれの役割を果たしながら、米子市の地域福祉推進のため、活動の指針として活かしてまいります。

財政改善については、会員拡大、収益事業の取組を行いました。収益事業では、昨年からはじめた自動販売機の設置を進め、財政基盤の強化に努めました。

よなご暮らしサポートセンターでは、様々な悩みや課題を抱えた人の相談窓口を1本化し、解決への道を模索してまいりました。また、生活困窮の状態にある人、権利擁護を必要とする人、高齢者等の様々な問題を抱える一人ひとりに寄り添い、自立を目指して支援を行いました。緊急の支援としては、フードパートナー事業による食料の支給を行いました。

広報活動では、「社協だより」やホームページのリニューアルを行い、わかりやすい内容の掲載を進めました。また、SNSでの情報発信を進め、様々な年代の方に本会の活動内容を知ってもらい市民の福祉への理解を深め、福祉活動への参加促進に努めました。

今後も地域住民やボランティアの方、地区社会福祉協議会、民生児童委員等関係機関、団体と連携し、地域の課題、ニーズに基づいた活動に取り組んでまいります。

II 事業実施報告

1 法人運営事業

会議の開催及び参加、事業の企画立案及び実施と諸規程の整備、苦情対応と情報公開の推進等、適正な法人の運営、財政の健全化と組織の強化に努めた。

(1) 会議の開催

ア 正副会長会の開催

正副会長会を開催し、理事会、評議員会提出議案等について協議した。

イ 理事会の開催状況（6回）

開催日	内容等
令和元年6月4日	<ul style="list-style-type: none">・報告事項 会長の職務執行状況について・平成30年度事業報告、収支計算書、貸借対照表及び財産目録承認・理事・監事候補者決定・定時評議員会の招集議決
6月20日	<ul style="list-style-type: none">・米子市社会福祉協議会会長、副会長、常務理事の互選・評議員候補者決定
8月27日	<ul style="list-style-type: none">・報告事項 会長、常務理事の職務執行状況について・米子市社会福祉大会開催要項及び大会役員議決・各地区敬老会の来賓代理出席決定
9月30日	<ul style="list-style-type: none">・報告事項 会長、常務理事の職務執行状況について・職員就業規程の改正議決・令和元年度米子市社会福祉協議会長表彰候補者の審査
令和2年2月13日	<ul style="list-style-type: none">・報告事項 会長、常務理事の職務執行状況について規程の改正について・デイサービス事業の廃止議決
3月12日	<ul style="list-style-type: none">・報告事項 会長、常務理事の職務執行状況について・居宅介護支援事業所の事業廃止議決・米子市中央デイサービスセンター運営規程の改正議決・嘱託職員等就業規程の改正議決・職員の育児・介護休業等に関する規程の改正議決・令和元年度補正予算同意・令和2年度事業計画、収支予算同意・評議員会の招集議決

ウ 評議員会開催状況（2回）

開催日	内容等
令和元年6月20日	<ul style="list-style-type: none">・平成30年度事業報告、収支計算書、貸借対照表及び財産目録承認・理事・監事の選任

令和2年3月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・報告事項 介護事業について ・令和元年度補正予算議決 ・令和2年度事業計画、収支予算議決
-----------	---

エ 監査会開催状況

開催日	内容等
令和2年5月24日	・平成30年度事業報告、収支計算書、貸借対照表及び財産目録の監査

オ 委員会の開催

①評議員選任・解任委員会

評議員を選任する評議員選任・解任委員会を開催し、評議員候補者について審議し、欠員の評議員8名を選任した。

- ・開催日 令和元年8月7日
- ・出席者 5人（委員3人、市社協2人）

②介護事業検討委員会

介護事業検討委員会を開催し、介護事業の現状、課題、今後の方針等を協議した。

（第2回）

- ・開催日 令和元年6月14日
- ・出席者 9人（委員5人、市社協4人）

（第3回）

- ・開催日 令和元年8月23日
- ・出席者 9人（委員5人、市社協4人）

（2）規程の改正の状況

- ・職員就業規程の改正
- ・役員及び職員給与規程の改正
- ・職員の育児・介護休業等に関する規程の改正
- ・嘱託職員等就業規程の改正
- ・中央デイサービスセンター運営規程の改正

（3）役員、評議員の選任状況

ア 役員の選任

令和元年6月20日付

・理事 18人

八幡廣子、手島仁美、岩佐弘志、浦木 昇、足立泰雄、田後良文
井藤喜邦、大櫃興紀、徳永文隆、武良賢治、脇坂喜啓、高野和男
種田 進、中曾登志子、角 喜美江、遠藤良子、村瀬 豊、石原慎吾

・監事 2人

堀安宗威、松本 眞

イ 評議員の補欠選任

令和元年8月7日付

評議員に欠員が生じたため補欠選任を行った。

- ・ 1号評議員 3人
清水典子、佐藤幸人、武部 肇
- ・ 2号評議員 4人
足芝通秋、西尾陸夫、永見修司、湯原博己
- ・ 4号評議員 1人
景山泰子

(4) 苦情対応

苦情対応の体制整備のため、苦情解決第三者委員を設置し研修会へ参加した。

ア 苦情解決第三者委員

本池美由樹、松本 眞、鎌田真治

イ 研修会への参加

- ・ 福祉サービス苦情解決事業研修会
期日 令和元年6月25日
会場 東伯郡湯梨浜町 ハワイアロハホール
参加者 4人（委員2人、市社協2人）

(5) 財政の健全化

自己財源確保を目指し、昨年度より収益事業として始めた自動販売機設置事業が効果的な設置を行うことで増収となった。この収益は、各学校に図書を贈る活動など地域福祉事業の財源の一部として活用することができた。

また、香典返し寄付金の減少傾向に対して、寄付金税額控除について広報などにより寄付金についての周知に努めた。

福祉の地域づくり自動販売機の状況（令和2年3月31日現在）

区分	実績額（円）
販売手数料	623,213

会費の状況（令和2年3月31日現在）

区分		実績額（円）
一般会費	38,410世帯	23,046,000
団体会費	93件	465,000
賛助会費	160件	1,365,000

寄付金の状況（令和2年3月31日現在）

区分	実績額（円）
一般寄付	2,221,919
香典返し	9,395,500

(6) 情報公開

本会の事業内容、事業計画・予算書、事業報告・決算書について「よなご社協だより」及び本会ホームページに掲載した。また、選任された理事及び評議員の氏名、役職を「よなご社協だより」に掲載した。

(7) 広報・PR活動の実施

市民に対する福祉意識の啓発のために、広報活動として、会報を発行するとともに、ホームページによる情報発信、PR活動を行った。

ア 会報「よなご社協だより」の発行全戸配布

年4回発行 154号～157号

1回当たり発行部数 46, 200部

イ ホームページによる情報発信

7月に「見やすく・分りやすく」をテーマにリニューアルを実施した。

福祉サービスの内容、行事等随時更新し充実を図った。

ウ PR活動

社会を明るくする運動、クリーン活動、高校生マナーアップさわやか運動に参加し、活動を通してPRに努めた。

(8) 大会の開催及び参加

社会福祉に対する世論の喚起と市民福祉の充実を図るための社会福祉大会の開催をはじめ、精霊の供養のための精霊会を開催した。また、福祉に関係のある各種大会の共催及び参加をした。

ア 米子市精霊会・流灯会の開催状況

① 開催期日 令和元年8月16日

② 会場 米子市湊山公園

③ 参加者数 約1万人

④ 内容 米子仏教会等と実行委員会を組織し、精霊送りと灯ろう流し、供物の受取りを実施した。

イ 県民総合福祉大会の参加状況

① 開催期日 令和元年9月18日

② 会場 とりぎん文化会館

③ 参加者数 1180人(本会参加者45人)

④ 内容 表彰、講演、活動発表、アトラクション

ウ 米子市福祉のつどいの共催状況

① 開催期日 令和元年9月29日

② 会場 どらドラパーク米子市民体育館及び周辺

③ 内容 米子市ボランティア協議会、米子市との共催により、1,000人ウォーク、レクリエーション、マジックライブ実演、ブラインドマラソンデモンストレーション等を実施。

④ 参加者数 202人

エ 第52回米子市社会福祉大会の開催状況

- ① 開催期日 令和元年11月5日
- ② 会場 米子市福祉保健総合センター
- ③ 参加者数 約300人
- ④ 内容
 - 1)表彰
 - 2)講演 演題：「災害に備えた福祉のまちづくりをすすめるために」
講師：関西学院大学教授 藤井博志 氏
 - 3)パネルディスカッション
「これからの米子市の総合支援体制に向けた取組について」
パネリスト
藤井博志（関西学院大学教授） 加川充浩（島根大学准教授）
廣江 仁（養和会理事長） 伊木隆司（米子市長）
 - 4)福祉の店バザー
 - 5)健康チェックコーナー（包括支援センター）

オ 米子市民余芸大会の共催状況

- ① 開催期日 令和元年12月21日
- ② 会場 米子市公会堂
- ③ 参加者数 約1,300人
- ④ 内容 山陰中央新報社、米子市との共催により、チャリティーショーを開催した。（寄付金額 857,416円）

(9) 顕彰の実施

本市における社会福祉事業の推進に功績のあった個人、団体に対し、表彰又は感謝状を贈呈した。

ア 米子市社会福祉大会における市社協会長表彰及び感謝状状況

①社会福祉事業表彰

- 1)永年在職団体役員 19人
- 2)永年在職民生児童委員 4人
- 3)永年在職施設団体職員 46人

②社会福祉事業感謝状

- 1)社会福祉協議会役員功労者 5人
- 2)ボランティア団体 1団体
- 3)永年在職在宅福祉員 65人

イ 米子市社会福祉大会以外における感謝状状況

- ①在宅福祉員特別感謝状 1人

(10) 人材育成

職員の能力向上、育成を目指し、各種研修、講演会に参加した。

(11) 職員の衛生管理

職場の環境改善や職員の健康保持増進を図るため、衛生委員会を開催し、衛生に関する調査審議するとともに健康診断、ストレスチェック、講習会等を実施した。

ア 衛生委員会 12回開催（平成31年4月10日、令和元年5月8日、6月12日、7月10日、8月7日、9月11日、10月9日、11月8日、12月13日、令和2年1月10日、2月14日、3月13日）

イ 健康づくり講習（ストレッチ教室）

・開催日 令和元年6月21日 24人参加

ウ メンタルヘルス研修会

・開催日 令和元年12月2日 28人参加

エ 感染症対策研修会

・開催日 令和元年12月12日 22名参加

オ 健康診断 62人受診（9～1月）

ストレスチェック 62人受診（10月）

(12) 米子市社会福祉法人等連絡会

米子市社会福祉法人等連絡会を開催し、地域における公益的な取組を進めるために情報提供や意見交換を行った。また参加法人に対してアンケート調査を実施し、現在の取組状況や課題の把握を行った。

ア アンケート調査 令和元年8月～9月実施 18法人回答

イ 連絡会の開催 令和元年11月11日 16法人参加

(13) 災害への支援

「令和元年東日本台風」の発生に伴い、「中国ブロック県・指定都市社会福祉協議会災害時の相互支援に関する協定」に基づく県社協からの要請により被災地の災害ボランティアセンターの運営支援にあたる職員の派遣を行った。

派遣場所 宮城県丸森町

派遣期間 令和元年11月13日～11月18日

派遣人数 1人

2 地域福祉事業

地域福祉活動を推進するために地区社協を中心とした各種事業を実施した。また様々な事業所や機関、住民団体、行政等との連携、協働を図りながら地域福祉の向上に資する活動を行った。

(1) 地域支援事業

① 地域福祉コーディネーター事業（市行政委託事業）

地域福祉コーディネーターを配置し、各地区における地域福祉活動への協力、支援を行った。

② 地域力強化推進事業（市行政委託事業）

コミュニティワーカーを配置し、市内の一部地域において地域福祉活動の推進を支援するモデル事業を行った。

③ 米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定（市行政協働事業）

米子市と協働し、米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定を行った。

④ 各地区における地域福祉推進委員会の整備

地区版の地域福祉活動計画作成を目的に住民代表者で構成する地域福祉推進委員会に対して活動支援を行った。

⑤ 地区版地域福祉活動計画作成の推進

地区版の地域福祉活動計画の作成を通じて、住民自身が地域課題を把握し、課題解決に向けた具体的な福祉活動を検討し取組むことにより、地域福祉活動の推進を実践した。また既に計画を作成された地区における進捗状況の点検、今後の取り組みへの支援を行った。

地区	内容	回数
福生東	計画策定後の推進委員会への参加	10回
	計画で企画された行事への参加	4回
福生西	活動計画に関する打合せ、協議	1回
	計画策定後の推進委員会への参加	1回
	計画で企画された行事への参加	1回
県	地域社会福祉部会への参加	2回
	活動計画に関する打合せ、協議	5回
	地域福祉推進委員会の開催	5回
加茂	活動計画に関する打合せ、協議	9回
	地域福祉推進委員会の開催	3回

⑥ 地域での福祉教育の推進

各地区が実施する研修会等に参加し、地域福祉について理解の促進、啓発活動を行った。

⑦ 地域立子どもの遊び場の支援

地域住民参加の団体で運営している遊び場を登録し、助成を行った。

地域立子どもの遊び場設置数（市社協登録施設）100施設

⑧ 各公民館・自治連合会・民生児童委員協議会等との連携

地区内の各種関係団体と連携、協力しながら地域福祉の推進に向けた活動を実施した。

（2）地区社協活動支援事業

① 地区社協活動財源の支援

地区社協に対し補助金を交付し、地域福祉活動に対する支援を行った。

② 地区社協への各種情報提供

県内で開催される研修会等の情報を地区社協に発信するとともに、地区社協からの相談に応じ、適宜必要な情報提供を行った。

③ 米子市地区社会福祉協議会長連絡会の事務局運営

米子市地区社会福祉協議会長連絡会の運営に協力するとともに、地域福祉活動の支援、協働を推進した。

令和元年5月28日、令和元年9月3日、令和元年11月22日、
令和2年1月21日

④ 米子市在宅福祉員代表者連絡会の事務局運営

米子市在宅福祉員代表者連絡会の運営に協力するとともに、在宅福祉員活動の支援、協働を推進した。

在宅福祉員代表者連絡会 令和元年7月5日
在宅福祉員合同研修会 令和元年12月6日

3 地域生活支援事業

小地域（自治会単位）による地域福祉活動を実践し、住民と専門職が協働し個別課題の早期発見や解決するための仕組みづくりを推進した。

(1) 小地域ネットワーク事業

① 在宅福祉員による見守り援助活動の推進

一人暮らし高齢者、高齢者世帯等を対象に、困りごとの早期発見や安否確認を目的とした在宅福祉員による見守り援助活動を行った。

在宅福祉員数 798人

見守り援助活動対象者数 4,222人

〃 利用者数 2,366人（延べ利用者数23,194人）

歳末見守り援助活動利用者数 3,275人

② ふれあい・いきいきサロン活動の推進

日中閉じこもりがちな高齢者等が定期的に集うことにより、日中活動の充実や住民同士の繋がり、困りごとの早期発見を目的としたふれあい・いきいきサロン活動を支援した。

ふれあい・いきいきサロン設置数 154サロン

延べ参加人数 27,164人

(2) 災害時要支援者避難支援の推進

① 災害時における支え愛地域づくり推進事業

災害時における支え愛地域づくり推進事業について市内各自治会長に周知し、補助事業の活用啓発に努めた。

② 支え愛マップづくり活動の推進

小地域（自治会・町内会域）において災害時の要援助者避難支援や、平常時の見守り体制構築を目的に作成する住民の支え愛マップづくり活動について、市内各自治会に対して事業内容、マップづくり作成手法等の説明会を実施し支え愛マップづくり活動の支援を行った。

訪問支援自治会数 8自治会

4 ボランティア活動、福祉教育の推進

(1) ボランティア活動の推進

ボランティア活動の拠点として、市民のボランティアに対する理解と関心を深め、活動に必要な情報の収集・提供、また各種講座の開催等を行い、ボランティア育成・支援の推進を図った。

ア 米子市ボランティアセンターへのボランティア登録状況

区分	登録数
登録ボランティアグループ	123グループ
登録個人ボランティア	346人

イ 米子市ボランティアセンターへの相談状況

活動件数の個人については、新規登録の個人ボランティアへのコーディネータが増えたことにより大幅増となった。しかし、団体については、2月以降、新型コロナウイルス感染症の関係で施設等での活動が中止になり減少した。

区 分	件数・人数
新規登録	(個人13人、5団体)
依頼件数(要請・お願い)	103件
相談件数(助言・情報提供)	333件
コーディネータ	84件
活動件数	(個人48人、35団体)

ウ ボランティア講座・研修会の開催

①精神保健福祉ボランティア講座

米子市障がい者支援課と共催

受講者の内一人は、後に「米子市福祉のつどい」に個人ボランティアとして参加した。

No.	開催日	場所	講座内容	受講者数
1	7月12日(金)	ふれあいの里	・参加者自己紹介 ・講演『精神障がいについて』 ・ボランティア活動について	4
2	7月19日(金)	ふれあいの里	・米子市の精神保健制度について ・講演「病院から地域につなぐために」 ・講演「あいサポート運動について」	3
3	7月31日(水)	米子病院	米子病院デイケアに参加交流	4
4	8月9日(金)	ふれあいの里	・発達障がいについての基礎知識、米子市の支援体制等について ・当事者の話 ・「家族会」の話	4
5	8月22日(木)	ふれあいの里	・先輩ボランティアの話 ・米子市デイケア 「こころのひろば」参加と交流	4
6	8月30日(金)	あかり広場	就労支援事業所見学及び修了式	4
合計				23

②レクリエーション講座

対象者をふれあい・いきいきサロンの世話役に特化し募ったところ、当初の定員(30人)を数日で上回ったため、(50人)枠に広げた。*前年比5~6倍の受講者数。

No.	開催日	場所	講座内容	受講者数
1	2月 3日 (火)	ふれあいの里	「地域を支えるお互いさまの活動を目指して！」(講師：ト蔵久子氏)	49
2	2月 7日 (金)			45
3.	2月10日 (月)		『「楽」「笑」「遊」を創る！～ゲーム、工作遊び』(講師：安田 智氏)	44
4	2月13日 (木)			41
			合計	179

③「ミニぼらんていあ祭」米子市ボランティア協議会と共催

今回で10回目となる「ミニぼらんていあ祭」は、前年度に引き続き、米子市ボランティアセンターの登録団体にも参加を呼びかけ、7団体の参加があった。

	開催日	場所	内容	参加者
1	11月16日 (土)	ふれあいの里	・ボランティア活動体験、紹介、展示等	約150名

エ ボランティア活動保険加入の受付窓口

①ボランティア活動保険…ボランティア活動中におこる様々な事故からボランティアの方々を補償する保険。高校生（ボランティア体験事業）が、前年度より49人増加した。

加入受付件数 143 件

区分	加入者数 (人)	備考
在宅福祉員	820	補助金 @350
高校生（ボランティア体験事業）	146	補助金 @500
個人ボランティア	1,699	
総計	2,665	

②ボランティア行事用保険…本会を始め、その構成員や会員である団体・グループなどが社会福祉事業の一環から主宰する様々な行事でのリスクに備えるための総合補償制度。2月中旬以降、新型コロナウイルス感染症の影響で行事が中止となった4団体について返戻金手続きを行った。

加入受付件数 44 件

③福祉サービス総合補償…本会を始め、その構成員や会員である施設、団体、その他のグループ等が行う在宅福祉・地域福祉サービスでの様々な事故に対する備えとしての総合補償制度。

加入受付件数 12 件

④社協の保険…本会が行う業務を補償。

加入受付件数 1 件

⑤送迎サービス補償…本会を始め、その構成員や会員である施設、団体、その他のグループ等が行う送迎サービスでの様々な事故に対する備えとしての補償制度

加入受付件数 13 件

⑥事故発生件数…ケガの補償（熱中症）1件、賠償責任1件、合計2件の事故が発生した。

取扱件数 2 件

オ 米子市ボランティアセンター会議室の利用状況

2月中旬以降、新型コロナウイルス感染症の影響によりキャンセルが多数入り、利用が減少した。

部屋別利用状況（開所日数： 307日）

	ボランティア室	録音室	研修室 1	研修室 2	録音録画室	合計
件数	265	1	381	309	289	1,245
人数	2,498	1	4,399	4,523	1,020	12,441

	会議	学習会	作業	録音	録画	その他	合計
件数	275	355	4	290	0	321	1,245
人数	4,094	4,230	40	1,021	0	3,056	12,441

カ ボランティア器材の貸出し

器材名	件数
託児用おもちゃ	11
スタッフジャンパー	0
アイマスク	2
ボランティア関連書籍	6
移動式スクリーン	1
畳（半畳）	1
DVD	2

キ 広報活動・情報提供

①情報誌「ぼらんていあ情報」の発行（米子市ボランティア協議会共同発行）
年に12回（毎月1日）1回当たり2,200部を発行し、公民館、社会福祉施設、小・中・高等学校、専門学校、病院、市役所、ボランティアグループ、銀行・信用金庫各支店、バスセンター等に配布。社協ホームページ内にも掲載

②ボランティア情報掲示板の設置

ボランティアセンターのフロアに掲示板を設置し、ボランティア募集、ボランティアに関するイベント・講座等の情報提供を行った。

ク 情報収集

ボランティア受け入れ施設・ボランティアグループの調査

鳥取県西部地域における各関係機関・施設及びボランティアグループ・団体に対し、ボランティア募集について随時調査を実施

ケ ボランティア体験事業

鳥取県社会福祉協議会と共催

参加者 146人（体験事業受入協力 81施設）

コ 米子市介護支援ボランティア事業

登録人数 80人（事業受入協力 68施設）

サ 障がい者理解と防災意識の啓発

9月29日（日）、米子市・米子市ボランティア協議会との共催事業「米子市福祉のつどい」をどらドラパーク米子市民体育館、東山陸上競技場等において開催し、ゲストに福留史朗氏（鳥取県障がい者スポーツ協会会長）他3人を招き、ブラインドマラソンのデモンストレーションや体験を行った。参加者は、施設関係者34人、ボランティア168人、合計202人だった。

シ 米子市ボランティア協議会の事務局及び運営協力

ス 災害ボランティアセンター（令和元年東日本台風（19号））

被災地にて開設された災害ボランティアセンターへの職員派遣を通じて、災害ボランティアセンターの設置、運営方法等についての情報収集を行った。

(2) 福祉教育の推進

ア 福祉教育推進校指定

福祉の心が家庭・地域・学校などで体験的に培われるよう、市内36全小・中・特別支援学校を福祉教育推進校に指定して、児童生徒に対する福祉教育の推進を図るため、1校30,000円の助成を行った。また今後の事業継続も確定した。

・福祉教育推進校育成助成状況

区 分	育 成 助 成 (校)
小 学 校	23
中 学 校	11
特別支援学校	2
計	36

イ 図書贈呈事業

自動販売機の収益を使い、児童・生徒が本に親しみ、感性と創造力を豊かに育む目的で小中学校に図書を贈呈した。

・実績額 9校 229,139円

・図書贈呈状況

区 分	贈呈校 (校)	
小 学 校	6	明道小、義方小、啓成小、就将小、車尾小、福生東小
中 学 校	3	東山中、福生中（いずみ分校含む）、福米中

5 生活支援・総合相談事業

(1) 生活困窮者自立支援事業

ア 自立相談支援事業

経済的かつ社会的困窮状態にある方に対して、包括的かつ継続的な相談支援、同行支援、求職活動の支援、自立支援計画の作成等を実施した。プラン作成件数が増えてきており、自立に向けた支援を行っている。

相談者の状況に基づくアセスメントから必要に応じた他機関への同行支援等を行うことによって、他制度の利用や他機関との連携を図った。プランを作成し支援を行うことにより、債務の整理、就労開始や就職活動開始、医療機関への受診、障害者手帳の取得などの変化が見られた。

相談の状況

	(件)
新規相談受付件数	273
新規申込受付件数（本人同意有）	33
情報提供のみで終了件数	97
他機関へのつなぎで終了件数	47
プラン作成件数	26

プラン作成評価の状況

	(件)
評価実施件数	17
終結件数	7
見られた変化あり	15
一般就労開始	7
就労収入が増加	2

(2) フードパートナー事業

緊急的かつ一時的に食事の確保に困るほど生活に困窮している世帯に対して、生活に必要な食料等を提供する生活再建に向けた支援を行った。支援件数は増えている。

支援対象世帯の状況

	件数
一般	28
貸付申請中	4
生活保護申請中	7
生活保護受給中	13
合計	52

世帯	件数
単身	36
2人	7
3人以上	9
合計	52

食品・食材提供者（令和2年3月31日現在）

登録者	12件
-----	-----

(3) えんくるり事業による経済的支援（現物給付）

既存の制度では対応できない、または緊急を要する場合の一時的な支援として、現物給付による経済的支援を実施した。

支援件数	6件
------	----

(4) 日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）

日常生活に不安を抱えている高齢者や障がい者（知的・精神障がい）の方等を対象に、福祉サービスの利用援助とそれに伴う日常的な金銭管理、書類等預かりサービス等を実施した。

① 現在利用者数（令和2年3月31日現在）

高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	生活保護（再掲）	合計
47	25	19	0	37	91

② 新規契約・解約件数

高齢者		知的障がい者		精神障がい者		その他		合計	
新規	解約	新規	解約	新規	解約	新規	解約	新規	解約
5	6	4	2	2	5	0	1	11	14

③ 相談援助件数

高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
1,174	684	1,233	24	3,115

(5) ふれあい総合相談事業の実施

日常生活の悩みや心配ごとについて、よなご暮らしサポートセンター職員が相談に応じる一般相談、法律問題について弁護士が相談に応じる法律相談を実施した。

相談の開設状況

相談種類	開設日	日数	相談延件数
法律相談	毎月第3月曜日 (変更有)	12	36
一般相談 (電話相談含む)	月～金曜日 (祝日及び年末年始の休日は除く) 午前9時～午後5時		94 (法律相談受付含む)

相談取扱件数及び内容

相談者延件数	94(件)		
相談分類	件数(件)	相談分類	件数(件)
生計	4	法律	62
年金	1	財産	10
職業・生業	2	事故	3
住宅・土地	31	児童福祉	0
家族	6	障害者(児)福祉	3
結婚・離婚	4	母子福祉・父子福祉	0
債権・債務	5	高齢者福祉	8
健康・保健・医療	2	苦情	5
教育・青少年	0	その他	28
		合計	171

(6) 資金の貸付

ア 生活福祉資金の貸付

低所得者世帯、高齢者世帯、障がい者世帯を対象に、必要な相談支援ならびに安定した生活を送るための資金の貸付を行った。昨年度より資金貸付件数は増加している。

令和2年3月23日より、新型コロナウイルス感染症の影響による特例貸付が開始となっており、4件貸付を行った。

資金別貸付件数及び金額

資金の種類	貸付件数(件)	貸付金額(円)
福祉資金(福祉費)	5	1,988,105
緊急小口資金	17	1,498,000
緊急小口資金(特例貸付)	4	800,000
教育支援資金	5	1,484,000
臨時特例つなぎ資金	4	400,000
総合支援資金	14	3,609,595
計	49	9,779,700

イ たすけあい金行の貸付状況

生活保護申請中の世帯を対象に、生活保護が決定される間で、第1回目の生活保護費が支給される日までの生活費として貸付を行った。昨年度より、貸付件数が増加している。

資金の種類	貸付件数 (件)	貸付金額 (円)
一時貸付		
20,000円 (1～2人世帯)	64	1,280,000
30,000円 (3人以上世帯)	7	210,000
合計	71	1,490,000

6 地域包括支援センター運営事業

担当地区（啓成、車尾、福生東、福生西、福米東、福米西）

◆ 地域包括ケアシステム構築に向けて

令和元年度の新たな取り組みとして、地域支援ネットワーク構築のための地域ケア会議をモデル的に福米中学校区で行った。まず、運営委員として福米地域にある医療介護の専門職の各代表者、三師会から推薦いただいた12名を決定し、準備会を経て、ふくよね在宅ケア連携の会を開催した。また、今年度は公民館ごとに担当職員を配置し、各地域の公民館活動・地区社協の活動などに積極的に参加し、地域を知る・地域の皆さんに知っていただく活動を強化した。特に、在宅福祉員の見守り活動に同行させていただき、地域との連携強化・広報活動へとつなげた。

2月下旬より新型コロナウイルス感染防止に努め、地域ケア会議・研修会の開催・参加の中止や訪問調整など業務体制について協議を重ね対応した。地域で安心して生活を続けるために、今何を優先すべきか地域の方や専門職と連携しながら対応を検討した。

ア 総合相談・権利擁護業務実績

高齢者の総合相談窓口として、介護・保険・医療・暮らし等に関して様々な困りごとに対応している。公民館ごとの担当職員の配置による広報活動の成果もあり、相談件数の増加は著しい。

()内は昨年度実績

相談件数（延べ件数）			
電話	訪問	来所	合計
28,927 (17,634)	12,214 (11,020)	712 (465)	41,853 (29,119)

()内は昨年度実績

相談内容（延べ件数）				
介護保険サービス	地域支援事業(介護予防) その他福祉に関すること	権利擁護関係	その他	合計
28,582 (18,092)	3,155 (2,956)	45 (68)	519 (201)	34,136 (21,317)

* 担当地区以外からの相談件数 159件 (124件)

イ 介護予防ケアマネジメント業務実績（延べ件数）

予防給付は、要支援認定者の介護保険利用件数、予防事業は、総合事業の利用件数となっている。介護保険の利用者数は、緩やかな増となったが、新規利用者の実人数は246人と昨年より65人増だった。

()内は昨年度実績

予防給付	予防事業	合計
6,629 (6,471)	696 (826)	7,325 (7,297)

ウ 地域におけるネットワーク構築業務実績（延べ件数）

地区担当職員が、地域活動に積極的に参加した。また、専門職の連携強化を図るため、地域ネットワーク構築機能を持つ地域ケア会議の開催に取り組んだ。

()内は昨年度実績

地域ニーズの把握・啓発・ネットワーク構築	実態把握	地域ケア会議	地域密着運営推進会議
374 (269)	598 (474)	44 (18)	68 (93)

* コロナウイルス感染防止対策により地区活動、会議など2月末から中止となっている。

エ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務実績（延べ件数・回数）

包括的・継続的ケアマネジメント支援では、地域の居宅介護支援事業所の介護支援専門員の支援を行っている。具体的には、介護支援専門員からの相談対応や地域・医療との連携のための研修会を事業所の主任介護支援専門員と一緒に計画・運営している。研修会・会議の参加回数の減は、資格更新研修受講者がいなかったことと、コロナウイルスの影響による。

()内は昨年度実績

ケアマネ個別支援（件）	研修会・他機関との連携会議（回）	居宅連絡会（研修会・事例検討）（回）
1,051 (1,044)	350 (1,431)	8 (7)

オ 地域支援体制構築

介護予防地区講座支援では、公民館の講座で介護予防に関する情報提供を行った。また、サロン支援では、情報提供や実態把握に努めている。認知症理解啓発事業として、小学校での絵本を使用した若年層の啓発活動やタッチパネルを使用した認知症の早期発見・相談に対応している。

()内は昨年度実績

介護予防地区講座支援 (回)	サロン支援 (回)	認知症理解啓発事業 (回)	タッチパネル式物忘れ簡易健診 (人)
35(12)	39(20)	15(18)	127(122)

カ 緊急通報受信実績

緊急通報装置付き電話を設置している高齢者の電話対応をしている。電話を設置されている高齢者宅を年に一度訪問し、実態把握を行っている。令和元年度、緊急通報の受信実績はなかったが、夜間・休日の電話相談の対応は行っている。

キ 実習生受け入れ

地域で活躍される福祉・医療の人材育成を支援している。実習を依頼される施設は毎年増えており、来年度も鳥取大学が新たに加わる予定となっている。

()内は昨年度実績

医療センター(人)	米子北高等学校(人)	訪問看護師養成(人)	T-HOC実習(人)	鳥取看護大学(人)	合計(人)
6(8)	2(8)	3(4)	7(3)	2(5)	20(29)

7 米子ファミリー・サポート・センター運営事業

センターは、地域において子育て支援を図るため、育児の援助を行いたい者(援助・両方会員)と受けたい者(依頼・両方会員)を会員として組織化し、アドバイザーが仲介に入り、会員相互の育児支援活動を行った。

*アドバイザー(2名)は、広報活動や援助活動の調整及び各種講習会や会員交流会を開催し、他のファミリー・サポート・センターや他の関係機関との連絡調整を行った。また、アドバイザーの補佐的な役割を担うサブリーダー(中学校区を単位として援助・両方会員から選任した10名)の育成指導にもあたった。

ア 会員数について(令和2年3月31日現在)

依頼会員	865人
援助会員	238人
両方会員	36人
合計	1,139人

◆新規会員(133人)と、対象外による退会(96人)により増となった。

イ 研修・会合開催状況について

- ① アドバイザーとサブリーダーの連絡会を年間9回行った。(コロナウイルス感染拡大防止のため3月は中止)
- ② 依頼会員の登録説明会を年間78回実施した。(うち日曜開催1回)
- ③ 安心安全な子どもの預かりを行うため、「普通救命講習」や「子どもの心と体の発達とその問題点」など、2日間で合計10時間程度の『援助会員養成講習会』を年間2回実施した。
- ④ フォローアップ講習会では、～朝から元気！子どもの朝ごはん！～と題し、管理栄養士の指導のもと、『料理講習会』を実施した。
- ⑤ 会員同士の交流を図るために『会員交流会』として「ハーバリウム作り」と「なかよし ワイワイ交流会」を行った。

内 容	開催数 (回)	会員登録者 実数 (人)	参加者数	
			延べ人 数 (人)	備 考
アドバイザー、サブリーダー連絡調整会	9		96	コロナウイルス感染拡大防止のため3月は中止
依頼会員登録説明会	78	119	191	家族(会員の子ども等)同席者も含む
援助会員養成講習会	2	援助会員 11 両方会員4	72	講師、託児(会員の子ども)、託児要員を含む
フォローアップ講習会	1		28	講師、託児(会員の子ども)、託児要員を含む
会員交流会	2		136	出演者、会員の家族及び子ども、会員外の参加者を含む
合 計	92	134	523	

- ◆援助会員養成講習会は参加希望者が少なく、援助会員の確保に苦慮している。
- ◆フォローアップ講習会、会員交流会は好評で参加者が多い。
- ◆週に2回依頼会員登録説明会を行っているが、予定が合わない方のために随時受付し、依頼会員数の増に努めた。
- ◆平日に入会に来られない方を対象に、2月2日(日)に登録説明会を実施した。(2名の入会)

ウ 活動状況について

活動状況においては、「保育所・幼稚園の迎え」を中心に、「子供の習い事に伴う送迎」「保育所・幼稚園の帰宅後の預かり」と続き、年間2,394回の活動が行われた。

内 容	回数(回)
学校の登校前、保育所・幼稚園の登園前の預かり	2 3 2
保育所・幼稚園の帰宅後の預かり	3 3 1
学校・保育所・幼稚園の送り	2 7 9
保育所・幼稚園の迎え	5 0 5
放課後児童クラブ終了後の預かり	7
学校の放課後の迎え	1 2
学校の放課後の預かり	1
保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子供の学校行事の場合の援助	2 1
保護者等の外出の場合の援助	1 5 8
放課後児童クラブの迎え	8 7
子供の習い事に伴う送迎	3 4 0
子供の習い事に伴う預かり	1 1
保育所・学校等休みに伴う送迎	4 1
保育所・学校等休みに伴う預かり	2 2
保護者の就労（短期・臨時・求職活動等）の場合の援助	2 6 2
保護者等の病気、その他急用の場合の援助	2 5
子供の病気時の援助	0
その他	6 0
合 計	2, 3 9 4

◆合計活動件数 ⇒ 前年度比 236 件増（平成 30 年度 2,158 件）

◆件数が増えた理由として

○入会してすぐに利用する方が多かったため。

○兄妹での利用者がいたため。

エ 広報活動について

○年間 2 回会報誌を作成し、会員、米子市社会福祉協議会、米子市役所、子育て支援センター、全国ファミリー・サポート・センター（約 100 か所）、他関係機関に配布し広報活動に努めた。

○米子市内 小学校（1・2 年児童）、保育所施設等（全児童）にリーフレットを配布した。

○米子市内の子育て支援センター（3 か所）に来所の保護者に事業説明を行った。

発行月	会報誌名	発行部数（部）
令和元年 6 月	よなごファミリー・サポート・センター Vol. 2 1	1, 5 0 0
令和元年 1 0 月	ふれあい令和元年 1 0 月号	1, 5 0 0

8 お祝い、激励事業

(1) お祝い事業

88歳（米寿）のお祝い

米寿（88歳）の対象者に祝詞、お祝いの記念品を送った。

対象者数（昭和7年生まれ）817人

(2) 激励事業

交通遺児に対し、激励金の支給を行った。

交通遺児に対する激励金の支給

対象児童数（人）	一人当りの支給額（円）	金額（円）
7	30,000	210,000

9 福祉バス運行事業

地区社会福祉協議会を始め市内の福祉団体、老人クラブ等の登録会員の地域社会交流、研修及び社会参加の促進を図るため、福祉バスの運行を実施した。

ア 老人福祉バスの運行状況

利用回数（回）	利用延人数（人）
214	4,277

イ 福祉バスの運行状況

利用回数（回）	利用延人数（人）
189	3,924

10 福祉団体等への支援・協力

(1) 募金団体の事務局運営

福祉に関係のある募金団体の事務局運営を行い、募金運動に協力した。

- ①鳥取県共同募金会米子市共同募金委員会
- ②日本赤十字社鳥取県支部米子市地区
- ③米子地区更生保護協力会

(2) 福祉団体の事務局運営と活動への支援

福祉団体の事務局運営を行うとともに、自主活動化の支援を行った。また、福祉団体及び協力団体等の活動に対し助成を行った。

ア 福祉団体の事務局運営 10団体

- ①米子市老人クラブ連合会
- ②米子市肢体不自由児者父母の会
- ③米子市手をつなぐ育成会
- ④米子市身体障害者福祉協会
- ⑤米子市連合母子会
- ⑥米子市保育所保護者会
- ⑦米子市遺族会
- ⑧米子更生保護女性会
- ⑨米子市地区社会福祉協議会長連絡会
- ⑩米子市ボランティア協議会

イ 福祉団体等の育成助成団体 14 団体

- ①米子市民生児童委員協議会
- ②米子市連合婦人会
- ③米子市老人クラブ連合会
- ④米子市身体障害者福祉協会
- ⑤米子市遺族会
- ⑥米子市手をつなぐ育成会
- ⑦米子市肢体不自由児者父母の会
- ⑧米子市連合母子会
- ⑨鳥取県視覚障害者福祉協会西部支部
- ⑩米子更生保護女性会
- ⑪米子保護区保護司会
- ⑫米子市地区社会福祉協議会長連絡会
- ⑬米子市ボランティア協議会
- ⑭青少年育成米子市民会議

ウ 協力団体活動助成 1 団体

- ①米子市自治連合会

1.1 介護事業

(1) 介護事業の実施

「できる限り住み慣れた地域で暮らし続けることを支える」という観点から、地域が必要としているサービスが実施できるように努めるとともに地域で信頼され、開かれた施設となるよう運営に尽力した。

米子市中央デイサービスセンターは通常型で運営。「啓成よつ葉の会」の地域ボランティアの活動により地域に開かれた施設として機能し、利用者に安らぎを提供できた。全体として介護度の軽度の利用が多く、介護予防は増えた。

しかし介護事業検討委員会において令和2年度中の閉鎖が決まったため、その結果、利用数が昨年度比で約10%減少した。

よどえ通所介護事業所について、通常型で運営。要介護度の重度の傾向がある。近隣の居宅介護支援事業所、利用者からの信頼を得て、昨年度比で約9%利用件数が増えた。

①通所介護事業実績

米子市中央デイサービスセンター	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険利用回数（回）	362	389	340	376	347	370	344	315	278	265	262	278	3,926
介護予防利用回数（回）	11	12	11	18	19	11	20	20	20	20	20	20	202

よどえ通所介護事業所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険利用回数（回）	460	511	491	531	483	467	520	504	457	413	409	441	5,687
介護予防利用回数（回）	70	64	58	58	56	54	61	58	57	55	51	56	698

